

“好循環のうねりを生み出す”
新しい総合計画

(第8次敦賀市総合計画)

【令和7年3月改訂】

【令和6年3月策定】

敦賀市

地域ビジョン(基本理念)

- 現在、我が国は急激な人口減少に直面しており、本市においても、今、この課題に対する対策を打たなければ、将来の地域の維持・発展に大きな影を落とす、看過できない状況となっています。
- この難局を乗り越えるためには、様々な政策分野での取組を連携させ、敦賀で生まれた子どもたちが、敦賀で育ち、敦賀で働き、そして次代の子どもを産み育てていくといった好循環のうねりをつくることによって、地域経済をはじめとした敦賀のまちそのものを一步一步、発展させていくことが求められています。
- このため、まちづくりの源泉となる「人口」について、敦賀の力を結集し、みんなで人口減少対策に取り組んでいくことを目指し、次のことを地域ビジョンとします。

『好循環が継続する、
発展し続ける地域』

定住志向の上昇



婚姻率の上昇



雇用の創出



若年層の定着

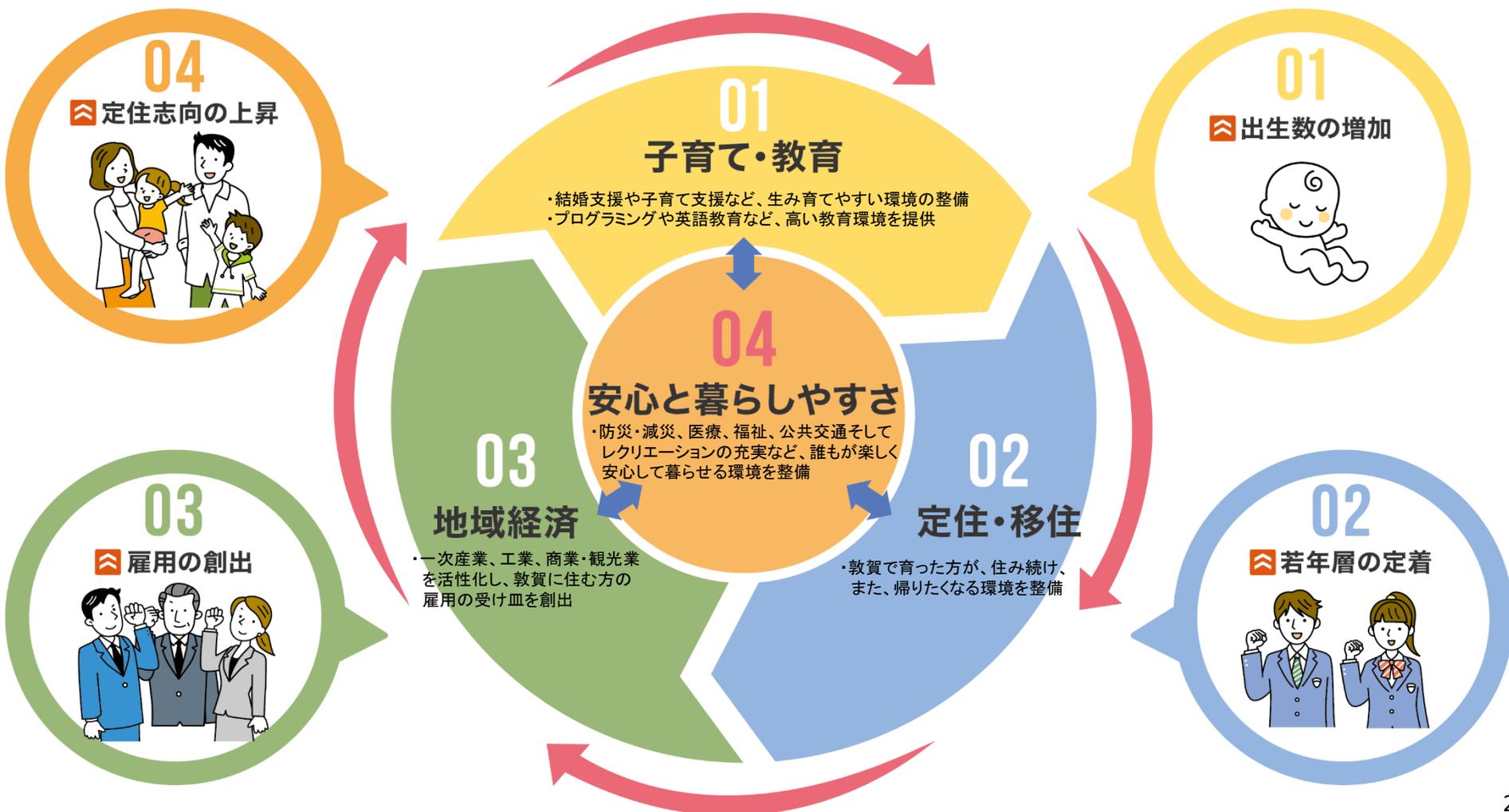


出生数の増加



計画の体系(好循環モデル)

- 新しい総合計画では、『人口減少』を計画全体の政策課題としています。
- この計画体系として、これまでの政策分野毎の階層モデルを一新し、各政策分野が連携し、人口減少対策を推進していくという、みんなで共有しやすいストーリーを設定しています。
(好循環モデル)



政策テーマの方向性

- 新しい総合計画では、以下の4つを政策テーマとしています。
- この政策テーマは単なる政策分野の分類ではなく、人口減少対策に向けたストーリーを構成するライフステージごとのまとめりとして機能し、それぞれがつながりをもって連携しています。

1 子育て・教育



結婚支援や保育所定員の見直しをはじめとした子育て環境の充実、プログラミングや英語等の教育環境の充実などに取組み、結婚～出産～子育てまでを一貫して支援することで、生み育てやすい環境の提供を目指します。

2 定住・移住



社会減の主要因である進学・就職期をメインターゲットに、本市の未来を担うこども達が、敦賀に住み続けることができる環境や、U・Iターンしたくなる環境を整えることで、定住・移住の増加を目指します。

3 地域経済



敦賀港や北陸新幹線等の敦賀のポテンシャルを最大限活かした企業誘致や稼ぐ観光を推進し、付加価値の高い仕事を創出するとともに、敦賀製品の販路拡大など、農林水産業に新たなビジネスチャンスを生み出すことで、定住・移住者の雇用の創出を目指します。

4 安心と暮らしやすさ

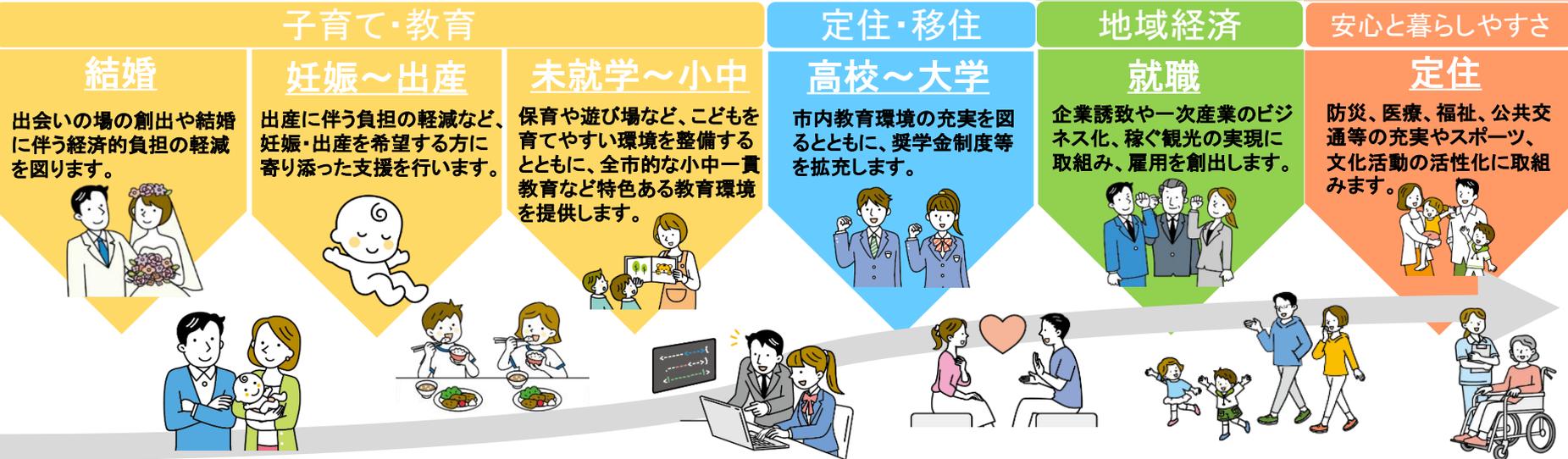
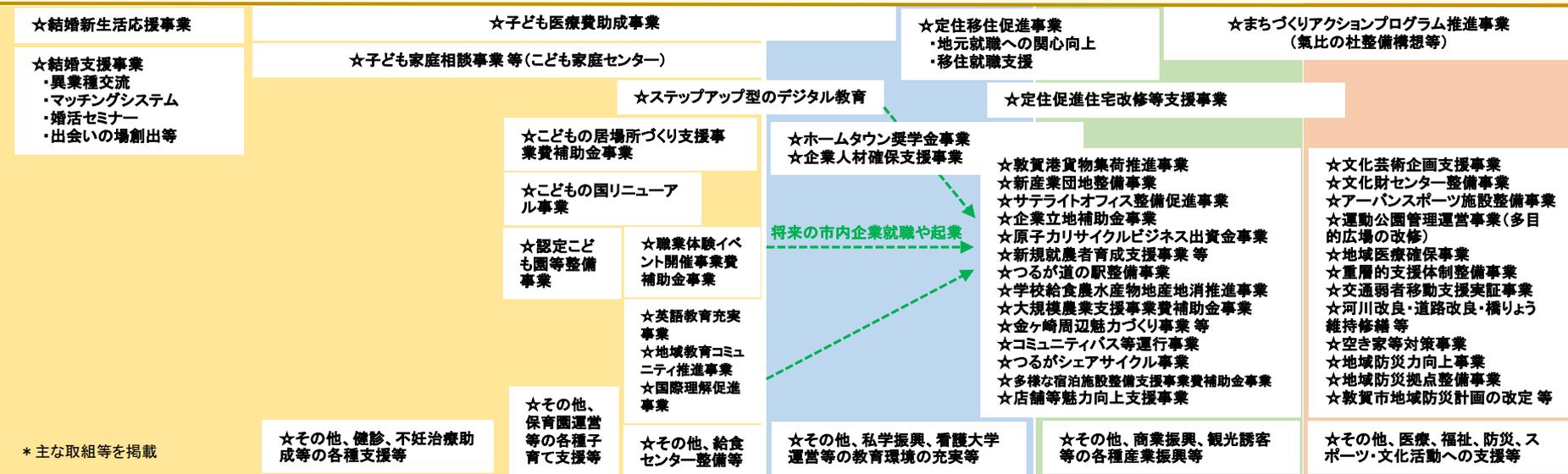


防災減災、医療、福祉、公共交通等の充実に取り組むとともに、スポーツや文化活動の活性化にも取組み、市民の誰もが、安心して、楽しく住むことができる環境を整え、定住志向の上昇を目指します。

政策テーマの方向性と人口減少対策のアプローチ

○第8次敦賀市総合計画に基づく主な取組を、市民の皆さんのライフステージ別に見ると、
下図のようなイメージになります。

○敦賀市は、市民の皆さん「それぞれが希望するステージでの活躍」を応援します。



生涯に渡り、安心と暮らしやすさを提供

子育ては敦賀でプロジェクト

子育て・教育

【取組方針】

直近10年間で、有配偶率とともに、出生数が大きく減少し、自然減が社会減を上回るなど、人口減少が新たな局面に入る中、結婚支援や子育て支援に積極的に取り組むことで、生み育てやすい環境の提供を目指します。

結婚支援事業

希望する誰もが機会を得やすくなるよう、職場間での交流の場を構築するとともに、出会いの場でのコミュニケーションが苦手な方へのフォローなどを行います。



結婚支援
の充実



出会いの場等の
結婚支援

結婚支援事業

ふく恋マッチングシステム利用支援、出会いの場創出等を支援



認定こども園等整備事業

待機児童ゼロの維持と希望する園への入園に向け、施設を適正配置



仕事と子育ての
両立支援



こどもの遊び場
整備

こどもの国リニューアル事業

こどもの遊び場を整備し、市内の子育て環境を充実



子育て支援の更なる充実

相談支援の強化



こども家庭センターの設置・運用
(児童福祉機能+母子保健機能)

子育て世帯への更なる支援 民間部門と連携した誰も取り残さない支援



こども医療費助成制度における
就学児の保護者負担の「撤廃」

こども食堂



フリースクール



こどもの居場所づくりへの支援

主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
結婚支援事業 (異業種交流会、マッチングシステム、出会いの場創出等)	支援実施	→	→	見直し	→
	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円
認定こども園等整備事業(松原、栗野、市街地各エリア)	実施設計等	新施設建設等	新施設建設等	新施設建設等	新施設建設等
	990百万円	986百万円	996百万円	643百万円	386百万円
こどもの国リニューアル事業	実施設計施工	供用開始(屋内) 遊園実施設計	遊園整備	供用開始(屋外)	
	213百万円	16百万円	150百万円		
子ども家庭相談事業等(子ども家庭センター関係経費)	センター設置	運用継続	→	→	→
	53百万円	53百万円	53百万円	53百万円	53百万円
子ども医療費助成事業(拡充)	制度拡充	→	→	→	→
	264百万円	264百万円	264百万円	264百万円	264百万円
こどもの居場所づくり支援事業費補助金事業	事業開始	→	→	→	→
	10百万円	8百万円	8百万円	8百万円	8百万円

すべての子ども・若者がしあわせに暮らす環境の整備



【取組方針】

敦賀のこども達が、今後、デジタル社会及びダイバーシティ社会を生きていく上で、求められるスキルを身につけ、郷土愛を育むことができる教育環境の提供を目指します。

敦賀で育む教育



ふるさと教育の推進

敦賀のこども達に、郷土愛を育み、帰属意識を誘起させる上で、ふるさと教育を推進

郷土愛を育む

デジタル教育の推進

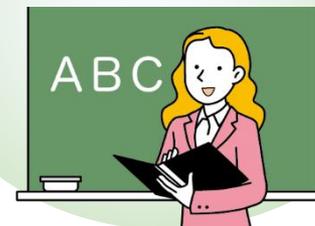
小中高生を対象に、プログラミングを教える教室の開催等を支援。



プログラミングスキルの習得

英語教育の強化

小学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語教育を強化



英語によるコミュニケーション能力を育む

主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
嶺南Eコース計画推進事業、デジタル人材育成事業（ステップアップ型のデジタル教育）	事業継続	事業見直し (デジタル人材育成事業)	事業見直し (嶺南Eコース計画推進事業)	→	→
	19百万円	未定	未定	未定	未定
英語教育充実事業	ネイティブスピーカー配置	→	→	→	事業見直し
	17百万円	23百万円	23百万円	23百万円	23百万円
地域教育コミュニティ推進事業、国際理解促進事業	事業継続(地域教育) UNHCRとの連携(国際理解)	事業継続(地域教育)	→	→	→
	13百万円	7百万円	7百万円	7百万円	7百万円

敦賀ですごすプロジェクト

定住・移住

【取組方針】

市内の人材の循環・定着に向け、社会減の主要因である若者の進学期・就職期をメインターゲットとした定住・移住施策を充実させ、一人でも多くの方が敦賀に住み続け、また、U・Iターンしたくなる環境を整えることで、定住移住の増加を目指します。

定住の促進

小学生向けの職業体験イベントや高校生及び保護者に対する地元就職への関心を高める情報発信



職業体験 情報発信

地元企業の情報等を提供し、地元就職への関心を高める！



一人でも多く
住み続けやすく！
帰りやすく！



一人でも多く
敦賀に移住しやすく！

定住の促進

奨学金の返済支援などにより、定住・Uターンを促進

移住の促進

移住就職支援金などにより、敦賀への移住を後押し

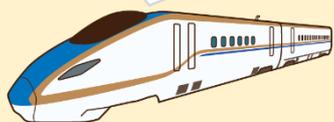
主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
ホームタウン奨学金事業、 企業人材確保支援事業	事業実施(奨学金) 制度周知(企業人材確保支援)	事業実施	→	→ (奨学金返還支援)	→ (奨学金返還支援)
	8百万円	11百万円	13百万円	28百万円	78百万円
定住移住促進事業 (地元就職への関心向上、移住就職支援)、定住促進住宅改修等支援事業	HP改修、 高校生・保護者への説明会	→	→	→	→
	24百万円	26百万円	26百万円	26百万円	26百万円
職業体験イベント開催 事業費補助金事業	事業継続	事業見直し	→	→	→
	13百万円	未定	未定	未定	未定

敦賀を活かす産業プロジェクト

【取組方針】

北陸新幹線敦賀開業といった地域経済の新しいステージを迎える中、海陸交通の要衝という敦賀の産業特性の維持・向上を図り、高付加価値産業等の創出・誘致を目指す新しい産業団地の整備を検討するとともに、敦賀の特性を活かした産業振興を図ることで、人材の循環・定着を目指します。

地域経済の新しいステージへ



北陸新幹線敦賀開業



敦賀港貨物集荷推進事業

海陸交通の要衝としての敦賀の特性の維持・向上



サテライトオフィス整備事業

若年層に人気の高いITや都市部企業のサテライトオフィスを誘致

新産業団地整備事業

高付加価値産業等の創出・誘致を目指す新しい産業団地を整備



まちづくりアクションプログラム推進事業

アクションプログラムに基づき、まちなかに持続的なにぎわいを生み出し、その効果を市内全域に波及



敦賀の人材の循環・定着

原子力関連産業で生まれる雇用や経済効果の地元取込

原子力サイクルビジネスを担う新会社への出資



原子力発電所の廃止措置



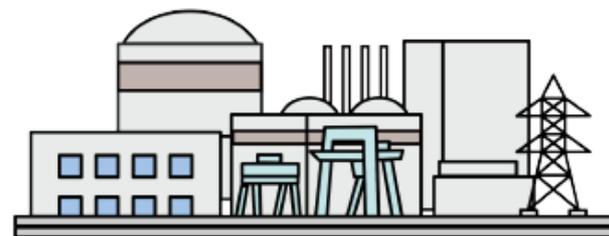
リサイクルビジネス
(溶融・CL測定・選別)

主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
敦賀港貨物集荷 推進事業	補助金交付	→	※鞠山南ターミナル拡張のタイミングで制度拡充を検討		
	72百万円	72百万円	未定	未定	未定
新産業団地整備 事業	候補地調査	(整備の場合) 計画策定・用地交渉等	(整備の場合) 用地交渉・測量・実施設計 等	(整備の場合) 用地整備	→
	18百万円	未定	未定	未定	未定
サテライトオフィス整備 促進事業、企業立地補 助金事業	補助金交付	→	→	見直し	→
	19百万円	未定	未定	未定	未定
原子力リサイクルビジネ ス出資金事業	法人設立・出資	→	→	→	→
	228百万円	未定	未定	未定	未定

海陸交通の要衝(地域特性)



原子力産業(基幹産業)



【取組方針】

敦賀の豊かな自然に育まれた農林水産業について、新しい道の駅の整備検討による産業としての高付加価値化を進め、学校給食での地産地消による安定需要を創出するとともに、担い手の育成支援を進めることで、敦賀の人材の循環・定着を目指します。

稼ぐ産業としての出口戦略

高付加価値化

つるが道の駅整備事業
産業そのものの高付加価値化を進める新しい道の駅の整備を検討

安定需要創出

学校給食農水産物地産地消推進事業等
市内農水産物の学校給食での地産地消の推進

担い手の育成支援

担い手の確保・支援

新規就農者育成支援事業、大規模農業支援事業費補助金等
技術習得支援や設備支援など、新規就農しやすい環境を整備

敦賀の人材の循環・定着

TSURUGA CITY

主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
新規就農者育成支援事業等	事業継続	→	→	→	→
	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円
つるが道の駅整備事業	整備検討等				
	—				
学校給食農水産物地産地消推進事業等	地産地消の推進	→	→	→	→
	11百万円	11百万円	11百万円	11百万円	11百万円
大規模農業支援事業費補助金事業	支援実施	→	→		
	158百万円	1百万円	1百万円		

選ばれる観光、稼ぐ観光プロジェクト

【取組方針】

新幹線開業という好機を捉え、氣比神宮や金ヶ崎等の地域資源を活かした誘客施策を展開し、観光客から選ばれるまちを目指します。また、市内店舗の宿泊や飲食・物販等の魅力向上を支援するとともに、観光客を商店街等へと誘う導線づくりに取組み、「稼ぐ観光」の実現を目指します。

選ばれる観光の実践

魅力づくり



金ヶ崎周辺魅力づくり事業等

金ヶ崎エリアに賑わい施設を整備し、エリアへの回遊性や観光機能を向上

観光と消費をつなぐ導線

二次アクセス



コミュニティバス等運行事業 (ぐるっと敦賀周遊バス)、 つるがシェアサイクル事業

観光客を観光地から商店街等に誘う導線づくりを実施

稼ぐ観光の実践

消費の受け皿



店舗等魅力向上支援事業

誘客を促進する、魅力ある店舗への改修を支援

多様な宿泊施設整備支援

事業費補助金事業

滞在観光客の受け皿となる、魅力ある宿泊施設への改修を支援

市民が活躍する
地域経済



主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
金ヶ崎周辺魅力づくり事業等	整備事業者募集・指定実施設計、施設整備(民・公) 道路空間再整備(神楽通り)	施設整備(民・公)	供用開始		
	920百万円	1,463百万円	2,486百万円		
コミュニティバス等運行事業(ぐるっと敦賀周遊バス)、つるがシェアサイクル事業	バス運行、シェアサイクルフリーパス発行	→	→	→	→
	41百万円	41百万円	41百万円	41百万円	41百万円
多様な宿泊施設整備支援事業費補助金事業、店舗等魅力向上支援事業	支援実施	→			
	165百万円	105百万円			

【取組方針】

あらゆる世代の方々が、楽しみながら、永く住んでいただくためには、仕事や教育環境と同じく、余暇の充実が非常に重要となります。そのため、市民の皆さんが楽しんで利用できる新たな施設の整備や文化活動等を支援し、敦賀に住む方々の余暇の充実を目指します。

文化・芸術の振興・施設整備

自主的に催事を行う団体の育成を支援し、市民が文化芸術等に気軽に触れることができる機会を創出

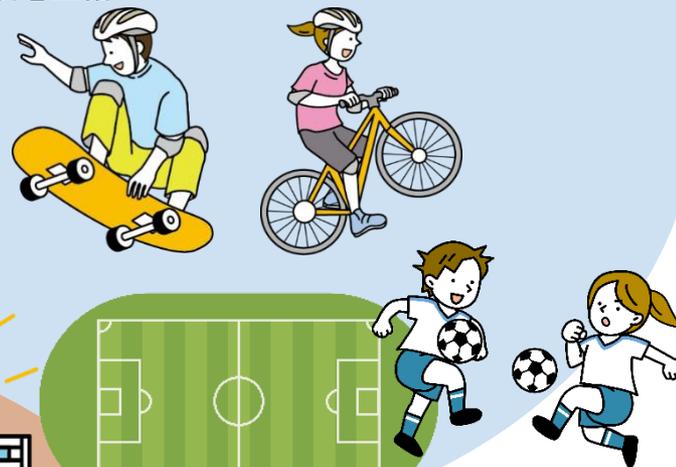
新たに文化財センターを整備し、文化財を収集・整理・研究するとともに、市民による郷土研究や地域の歴史に触れあう場所を提供



楽しく住む
敦賀を実現

多様なスポーツ環境の整備

余暇の充実や健康増進等に向け、都市型スポーツを体感できるアーバンスポーツ施設を整備するとともに、運動公園の多目的広場を芝生化し、サッカーなどのフィールドスポーツにも利用しやすいグラウンドに改修することで、高齢者から若者までみんなが楽しめる環境を整備





氣比の杜構想

氣比神宮周辺を文教エリアとして再開発し、文化や地域交流、防災機能を兼ね備えた複合施設や氣比神宮の雰囲気と調和した公園・参道の整備を検討



主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
文化芸術企画 支援事業	補助金による支援	→	→	→	→
	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円	5百万円
文化財センター整備 事業	実施設計	整備工事	整備工事・収蔵	供用開始	
	19百万円	232百万円	394百万円		
アークスポーツ 施設整備事業	実施設計	整備工事	供用開始		
	24百万円	未定			
運動公園管理運営 事業(多目的広場の人工 芝グラウンドへの改修)	実施設計	整備工事	供用開始		
	12百万円	未定			
まちづくりアクション プログラム推進事業(氣比 の杜整備構想)	基礎調査	基本構想検討	基本構想策定・ 基本計画	詳細・実施設計	整備工事
	13百万円	20百万円	未定	未定	未定

安心して住む敦賀プロジェクト

安心と暮らしやすさ

【取組方針】

地域医療を支える敦賀病院の機能充実や市民の健康づくり等を支援するとともに、高齢者や障がい者などの複合化したニーズへの包括的な支援の実施、公共交通の充実による交通弱者対策など、多様化する市民のニーズに対応し、市民誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

地域医療の確保



包括的な支援の実施



公共交通の充実



主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域医療確保事業	医療機器充実 医師・看護師等確保	→	→	→	→
	969百万円	696百万円	702百万円	699百万円	699百万円
重層的支援体制整備事業(多機関協働事業)	重層的支援体制推進会議等 の運営(多機関連携強化)	→	→	→	→
	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円	2百万円
交通弱者移動支援実証事業	実証事業	本格運行	→	→	→
	15百万円	未定	未定	未定	未定

安全になる敦賀プロジェクト

安心と暮らしやすさ

【取組方針】

防災・減災に資する取組を進め、市民の皆さんの安全安心を確保していくことで、敦賀市国土強靱化地域計画に基づく「地域と人のつながりを守り 持続性のある 災害に強いまち敦賀」を実現していくことを目指します。



地域と人のつながりを守り 持続性のある
災害に強いまち敦賀

日々の暮らしの安全確保(空き家対策等)



災害に備えた防災・減災
(道路改良、広域道路整備促進、笹の川水系整備促進)



市民への防災啓発



主な取組の例	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
河川改良・道路改良・ 橋りょう維持修繕等	事業継続	→	→	→	→
	221百万円	390百万円	442百万円	403百万円	412百万円
空き家等対策事業	空き家対策団体(NPO等)導入	→	→	空き家実態調査	→
	12百万円	8百万円	8百万円	13百万円	8百万円
地域防災力向上事業 (地域防災マップ作成 支援)	事業継続	→	→	→	→
	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円
地域防災拠点整備事 業、敦賀市地域防災 計画の改定等	地域拠点避難所の整備 防災計画改定(随時)	防災計画改定(随時)	→	→	→
	114百万円	1百万円	1百万円	1百万円	1百万円

成果目標と重要業績指標(KPI)

【成果目標】『将来を見据えた人口減少対策(好循環モデル)の実現』

- 政策テーマが相互につながりをもって連携する中で、全庁的な人口減少対策を推進し、不断の見直しを実施
- 市全体でストーリーを共有し、官民連携の力で人口減少対策の取組を実施

政策テーマ	プロジェクト	重要業績指標(KPI)		
		内 容	現状値 (令和4年)	目標値 (令和10年)
1 子育て・教育	子育ては敦賀でプロジェクト	人口減少対策の初手となる出会いを促す結婚支援事業による新たな出会いの件数	—	50組/年
	敦賀で育む教育プロジェクト	プログラミング等の社会に求められるスキルを習得する機会を創出する教室等の開催件数	—	50回/年
2 定住・移住	敦賀ですごすプロジェクト	定住移住促進事業や奨学金制度等を活用した、敦賀に住む人の増加数	55人/年	100人/年
3 地域経済	敦賀を活かす産業プロジェクト	市民や移住者をはじめ、敦賀で住み、働く人のための雇用を創出する企業誘致等の件数	3件	9件(累計)
	一次産業の新ビジネス化プロジェクト	一次産業が稼げる雇用の場として機能するよう高付加価値化を進める道の駅の整備の是非を検討・判断	—	整備の是非検討・判断
	選ばれる観光、稼ぐ観光プロジェクト	選ばれ、稼ぐ観光の実践として、入込客1人当たりの観光消費額の増加	5,854円/人	6,800円/人以上
4 安心と暮らしやすさ	楽しく住む敦賀プロジェクト	新しい施設の整備等に取り組み、余暇を充実させ、敦賀に住み続けたいと思う人(25歳～39歳)の割合を増加	62.6% (R5時点)	62.6% 以上
	安心して住む敦賀プロジェクト	著しい高齢化を背景とした増加する交通弱者を支援するため、移動手段のあり方を検討・判断	—	導入等を検討・判断
	安全になる敦賀プロジェクト	自助・共助に基づく地域防災力を強化するため、希望する自治会等の地域防災マップ作成・更新を支援	12地区/年	12地区/年

(参考)主要事業のマップ

①【原子力リサイクルビジネスを担う 新会社への出資】

クリアランス集中処理事業を担う新会社へ出資を行い、地域経済の活性化や廃止措置の円滑化を図ります。



②【西公民館建設事業】

老朽化した西公民館を移転新築し、地域の拠点として、住民の交流や社会教育を推進します。



③【新清掃センター整備事業】

新しい清掃センターの整備を美浜町と共同で行い、工事費及び維持費の低減を図りながら、市民の利便性を向上させます。



④【こどもの国リニューアル事業】

子育て環境の向上のため、こどもの遊び場となる「こどもの国」をリニューアルします。



⑤【敦賀港】

平成29年度から実施された拡張工事が令和5年度に完了。追加拡張工事が実施されており、更なる利便性向上が期待。



⑥【アーバンスポーツ施設整備事業】 【運動公園管理運営事業】

市民の余暇の充実に向け、若者に人気の高い都市型スポーツ施設の整備や、フィールドスポーツにも利用しやすいグラウンドとして、多目的広場の改修を行います。



⑦【第2産業団地(完了)】

敦賀市田結地区に第2産業団地を整備。今後、第2産業団地で予定されている工場増設や市内全域での企業立地に対して、補助金を支給し、企業の進出を促進します。



⑧【金ヶ崎周辺魅力づくり事業】

金ヶ崎周辺エリアに賑わい施設を整備し、エリアへの回遊性の向上や観光機能の強化を図ります。



⑨【神楽門前町の魅力向上】

神楽通り(市道2号線)について、2車線化を行うとともに、氣比神宮参道としての魅力ある景観整備等を行います。



⑩【氣比の杜構想】

氣比神宮周辺を文教エリアとして、再開発し、歴史・文化や芸術等に触れあうことができる空間を創出します。



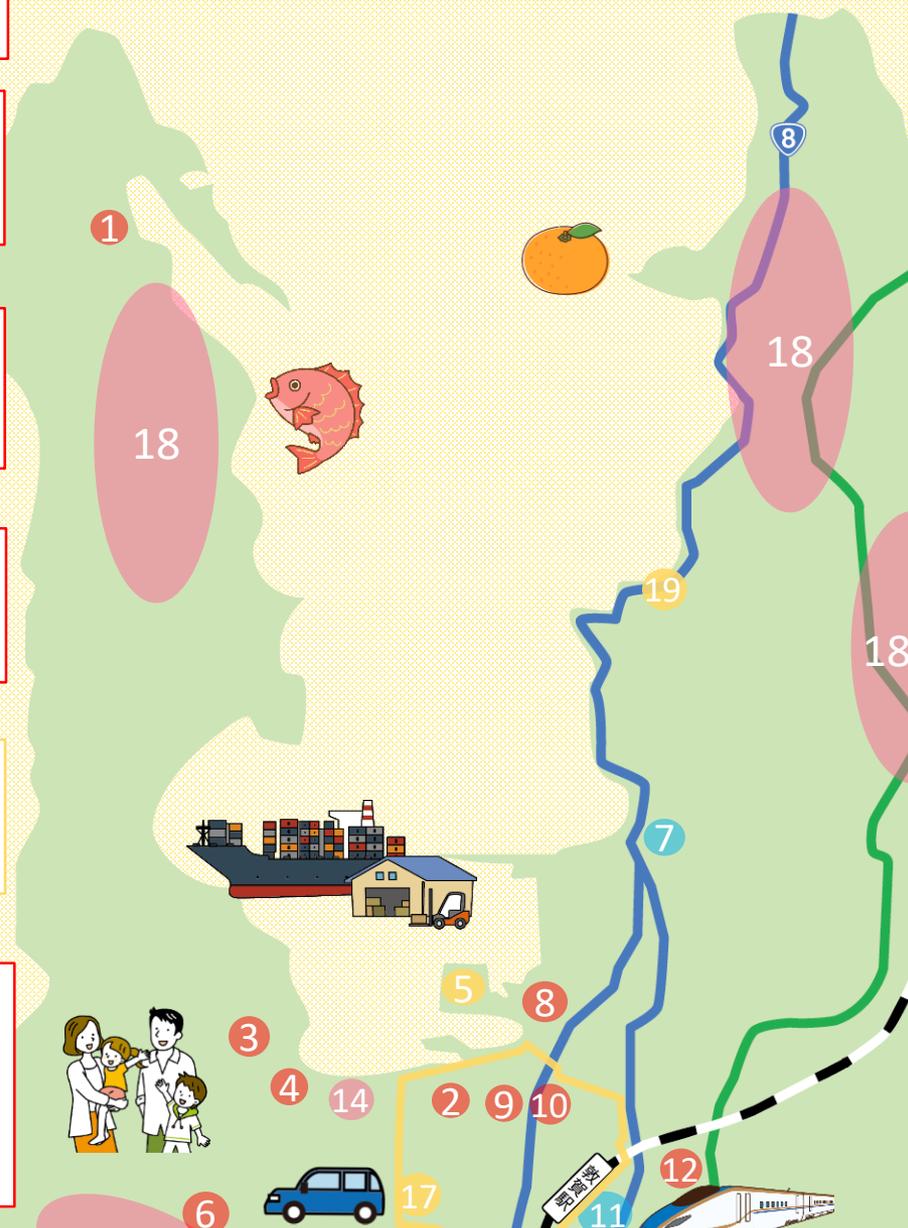
⑪【北陸新幹線敦賀駅舎(完了)】

令和6年3月16日、北陸新幹線敦賀—金沢間開業。交通結節点という優位性をさらに高める新たな敦賀の玄関口。



⑫【新学校給食センター整備事業】 【文化財センター整備事業】

咸新小学校跡地に、食物アレルギーへの対応等、児童・生徒に安全でおいしい給食を提供する施設を整備します。
また、地域の歴史・文化を学習することができる文化財センターを設置します。



13【障害者福祉施設改修事業】

入所者の高齢化・重度化などの状況を踏まえ、老朽化したやまびこ園の大規模改修を行います。



14【認定こども園等整備事業】

少子化や施設の老朽化といった状況を踏まえ、新たな認定こども園の整備や、公・私立施設間での役割分担等を行います。



15【一次産業の新ビジネス化支援】

大規模圃場の営農に必要な施設建設に対する支援やスマート園芸施設における経営安定化支援等を行います。



16【舞鶴若狭自動車道の4車線化】

嶺南地域を結ぶ重要物流道路である舞鶴若狭自動車道について、災害等でのリスクを回避するため、早期の全線4車線化を要望しています。



17【敦賀第2環状道路の整備】

観光スポットや商業施設を新幹線駅前広場と結ぶとともに、市内での交通渋滞を緩和させるルートを構築することで、経済活性化や市民の生活利便性向上を目指します。



18【交通弱者移動支援実証事業】

高齢者の移動ニーズを調査するため、市の一部地域でタクシーを活用した実証事業を実施します。
(東浦、西浦、愛発、東郷の一部を予定)



19【国道8号・161号の整備促進】

敦賀市を南北に縦断し、京阪神・中京圏と北陸圏を結ぶ重要物流道路にも指定される国道8号及び161号の整備等について要望しています。



国道161号(愛発除雪拡幅)

20【敦賀—高島連絡道路の整備】

原子力災害時の即時避難ルートの確保等に向けて、「敦賀—高島連絡道路」の整備等について要望しています。



【敦賀まちづくりアクションプログラム】

アクションプログラムに基づき、交通対策、商業対策、歴史・文化振興、交流拡大を進め、まちなかに持続的な賑わいを生み出し、その効果を『市内全域に波及』させます。



今後具体化を検討する事業等(エリア等未定)

つるが道の駅整備事業

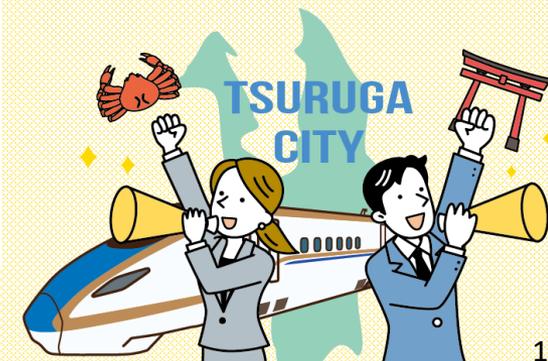


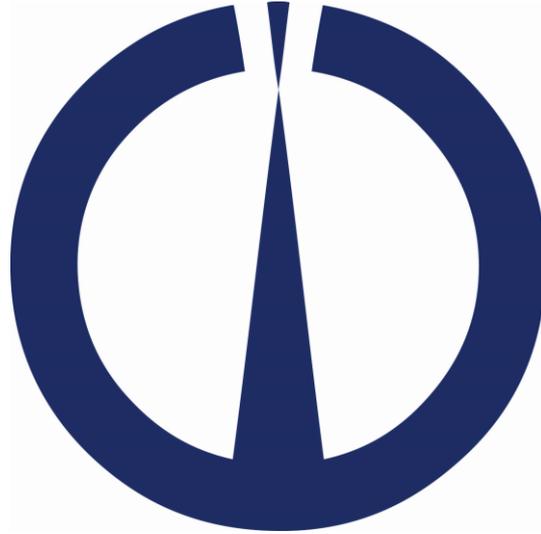
道の駅整備に関する調査等を踏まえ、1次産業の高付加価値化や販売ルート開拓につながる施設整備を検討します。

新産業団地整備事業



市内に新たな投資と雇用をもたらす企業の誘致に向け、新しい産業団地の整備を検討します。





敦賀市